

編集後記

執筆者紹介

山田和人……本学助教授
加美 宏……本学教授
藤井涼子……本学嘱託講師
林 翠芳……本学大学院博士課程後期課程
平 弥悠紀……本学大学院博士課程後期課程
戸田綾子……本学嘱託講師

「見れる」「出れる」のようなへら抜き言葉、文節末を上げて伸ばす「それでエ、わたしわア」のような話し方などが、公式に問題になった。昨年六月、第十九期国語審議会が最終報告の中で、現代日本語に関する検討課題として次期に申し送った事項である。

戦後間もない一九五二年に審議会が、「あなた」を対称の代名詞として広く使うことや形容詞＋「です」の使用を認めることなどを含む「これからの敬語」を議決して文部大臣に建議した。それから四十年余が経過して、日本語の変化の流れにまた一つの区切りをつけるべき時の到来したことを感じさせる。

本号には、加美宏教授・山田和人助教授の論文と日本語学の四論文に加えて、翻刻一篇を収めることができた。一九五四年に創設された同志社大学国文学専攻は、本年、人に譬えれば不惑となった。先賢の言の如く「不惑」の道を歩み、さらに「知天命」に進むことを期したい。次号は、その四十年記念号となる予定である。

(玉村文郎)

同志社国文学 第四十号

一九九四年三月一五日 印刷
一九九四年三月二〇日 発行

編集 玉村文郎

発行 同志社大学国文学会

(代表) 加美宏

京都市上京区今出川通烏丸東入

振替 京都九一二七三七

印刷所

共同印刷工業株式会社
京都市右京区西院久田町